歯科口腔外科

文責：山内 良太

概　要

平成 31 年 6 月現在、常勤歯科医師 1 名および非常勤歯科医師 1 名、歯科衛生士 2 名で診療を行っている。非常勤歯科医師として、山口大学医学部附属病院歯科口腔外科より三島教授に来て頂いており、毎週火曜日に専門外来診療および全身麻酔下手術を行っている。

外来診療は、原則として火曜日以外の平日午前に外来の新患患者の受付を行い、火曜日午前とその他の曜日の午後は、再診患者の診療や外来手術を主に行っている。火曜日は、全身麻酔下手術を主に行っている。院内移動困難な院内入院患者を対象に、往診やベッドサイドでの口腔ケアを行っている。

平成 30 年度は、外来新患者数 1185 人、再診患者を含む患者延数合計は 4699 人であった。紹介新患数は 529 人で、入院患者数は合計 52 人、平均在院日数は 3.9 日であった。また全身麻酔下手術件数は、46 件であった。外来局所麻酔下手術では、埋伏智歯抜歯術が最も多く、253 件であった。

周術期口腔機能管理を行った患者数は合計 319 人。このうち周術期口腔機能管理後手術加算に該当した患者は 173 人であった。また手術以外（化学療法、放射線治療および緩和ケアの患者）を対象とした口腔機能管理（周術期口腔機能管理 3）を行った患者数は合計 146 人であった。

診療内容および活動

診療方針として、顎口腔外科疾患と全身麻酔下手術前後や化学療法、放射線療法前後での周術期口腔機能管理に対する診療を柱とし、地域の歯科医療施設および医療施設、院内各診療科と連携をはかるとともに、高次医療施設とも緊密に連携をとりながら病院歯科口腔外科としての役割を果たすことを目的としている。

診療内容は、う蝕歯や歯周炎に対する治療、歯の欠損部に対する治療（義歯など）といった一般的な歯科治療の他に、抜歯などの侵襲的歯科治療や、腫瘍、顎口腔領域の外傷、口腔粘膜疾患等を対象とした口腔外科治療を幅広く行っている。

また三島教授の指導のもと、外来局所麻酔下および全身麻酔下での手術（火曜日午後のみ）を行っている。

前任から引き続き、一般歯科医院との診療内容の差別化をはかる目的に、当科で対応する顎口腔外科疾患は地域の歯科医院ならびに医療機関に周知されていることから、昨年度に比べ大きく損なうことなく紹介をいただいている。

当院における口唇口蓋裂患者診療に関しては、産婦人科ならびに小児科の御協力を得て、三島教授が口唇口蓋裂を専門外来とし、その専門知識と診療技術を当院患者に対して有効に活用することが目的である。山口大学医学部附属病院と連携して、口唇口蓋裂の一貫治療を推進する。

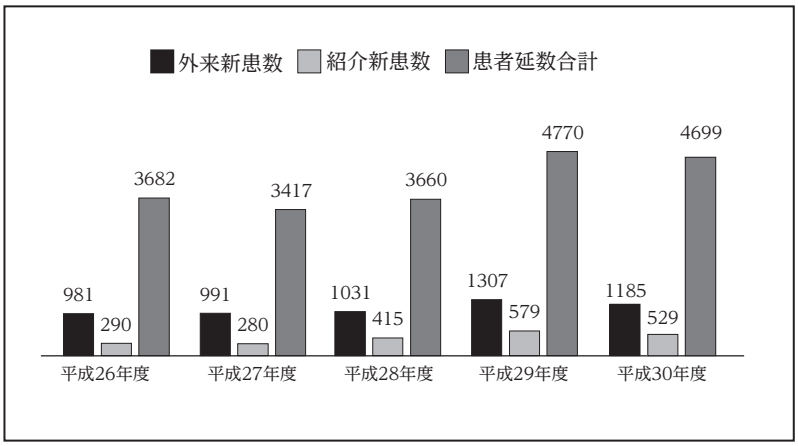
今後について

平成 30 年 7 月からの引継ぎとなり、ある程度は混乱なく診療が行えたと考える。これまでと同様に口腔外科疾患における地域の歯科医療施設および医療施設、院内各診療科と連携をはかるとともに院内における周術期口腔機能管理については現在組み込まれていない周術期口腔ケア導入の必要な疾患をクリニカルパスへ移行し、よりスムーズに行えることが重要と考え、院内各部署の協力を頂き、取り組み行っていく。

今後も、地域拠点病院の歯科口腔外科として、歯科診療の質および量のさらなる充実を図っていく。

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
外来新患数	981	991	1031	1307	1185
紹介新患数	290	281	415	579	529
患者延数合計	3682	3417	3660	4770	4699
入院患者数	60	59	46	90	52
全身麻酔下手術件数	42	42	41	73	46

外来患者推移



平成 30 年度全身麻酔下手術例

抜歯術	埋伏智歯抜歯術	14
	過剰埋伏歯抜歯術、異所性埋伏歯抜歯術	7
骨関連手術	骨隆起形成術	1
	腐骨除去術	0
	顎骨内金属プレート除去術	2
唾液腺関連手術	唾石摘出術	1
外傷（頸骨骨折）	顎骨骨折観血的整復固定術	3
	顎骨骨折非観血的整復固定術	0
良性腫瘍手術	顎骨腫瘍摘出術（顎骨嚢胞含む）	12
	軟組織腫瘍切除術	3
悪性腫瘍手術	悪性腫瘍切除術	3
顎関節関連手術	顎関節脱臼非観血的整復術	0
その他	舌小帯形成術	1
合計		47